

平成30年度分  
西郷村教育行政の点検及び評価報告書

令和元年7月17日

西郷村教育委員会

## ＜目 次＞

|    |                           |    |
|----|---------------------------|----|
| 1  | 目的                        | 1  |
| 2  | 法的根拠                      | 1  |
| 3  | 実施方法                      | 1  |
| 4  | 点検及び評価の対象年度               | 2  |
| 5  | 点検及び評価の方法と経緯              | 2  |
| 6  | 点検及び評価の基準                 | 3  |
| 7  | 西郷村教育委員会の基本施策             | 3  |
| 8  | 平成30年度 重点施策               | 4  |
| 9  | 学校教育課に属する重点施策や事務事業の点検及び評価 | 7  |
|    | (1) 目標を達成できた施策(A評価)       | 8  |
|    | (2) 目標をおおむね達成できた施策(B評価)   | 10 |
|    | (3) 目標達成に改善を要する施策(C評価)    | 12 |
|    | (4) 見直しを要する施策(D評価)        | 12 |
| 10 | 生涯学習課に属する重点施策や事務事業の点検及び評価 | 13 |
|    | (1) 目標を達成できた施策(A評価)       | 14 |
|    | (2) 目標をおおむね達成できた施策(B評価)   | 17 |
|    | (3) 目標達成に改善を要する施策(C評価)    | 18 |
|    | (4) 見直しを要する施策(D評価)        | 18 |
| 11 | 教育委員の活動状況                 | 19 |
|    | (1) 教育長・教育委員会委員選任状況       | 19 |
|    | (2) 会議・行事等の開催状況           | 20 |

# 西郷村教育行政の点検及び評価について

## 1 目的

西郷村教育委員会は、児童・生徒や保護者の信頼や願いに応え、教育行政のより一層の向上を図るとともに、今日的課題の克服や課題解決の方向性を明らかにするために、基本施策や事務事業の取り組み状況について点検及び評価を行う。

また、村民に信頼される教育行政を推進するため、点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、村民に公表する。

## 2 法的根拠

平成19年6月に公布された、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、教育委員会の行政の執行状況について、点検及び評価を実施することが義務づけられた。

### 第26条

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 3 実施方法

(1) 点検及び評価は、毎年度策定する「西郷村教育委員会教育行政推進基本計画」に掲げられた「重点施策」について行うこととする。

(2) 点検及び評価は、当該年度の施策や事務事業の進捗状況を総括するとともに、課題や今後の取り組みの方向性を明らかにするものとし、毎年1回実施する。実施方法は、教育委員会の職員による「内部評価」と、学校教育、生涯学習関係者による「外部評価」を行うこととする。

(3) 「内部評価」「外部評価」の結果について、学識経験を有する者の、「第三者評価」を受けることとする。

(4) 教育委員会は、上記の点検及び評価を行った後、その結果を取りまとめた報告書を西郷村議会に提出するとともに、村民に公表する。

#### 4 点検及び評価の対象年度

平成30年度

#### 5 点検及び評価の方法と経緯

##### (1) 教育に関する事務の点検及び評価に関する規則（平成20年4月1日）

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項、第2項の規定により、西郷村における教育行政の点検及び評価に関する規則を制定した。

##### (2) 学識経験者に対する第三者評価委員の委嘱

点検及び評価をするにあたり、3名の第三者評価委員を委嘱した。

- ・津久井 賢 西郷村在住（国立那須甲子青少年自然の家所長）  
（任期：平成30年4月1日～令和2年3月31日）
- ・大山 郁 白河市在住（元熊倉小学校長）  
（任期：平成30年4月1日～令和2年3月31日）
- ・筒井 鈴枝 白河市在住（元西郷村まきば保育園長）  
（任期：平成30年4月1日～令和2年3月31日）

### (3) 内部評価及び外部評価の実施（実施期間：平成31年1月～令和元年5月）

- ・内部評価……教育委員会の職員が、重点施策や事務事業の内容について自ら点検及び評価を行った。
- ・外部評価……村内各小中学校長、PTA関係者、学校評議員、社会教育委員、文化及び体育関係団体の委員などによる点検及び評価を行った。

### (4) 第三者評価委員会の開催

#### ①第1回第三者評価委員会（令和元年7月1日）

内部評価及び外部評価の結果を踏まえ、その内容を説明し、第三者評価委員からの意見を聴取した。

平成30年度分西郷村教育行政の内部・外部評価について説明した。

#### ②第2回第三者評価委員会（令和元年7月8日）

第三者評価委員から報告書の内容・形態について、最終的な意見を聴取した。

## 6 点検及び評価の基準

評価の基準は、項目ごとに次の4段階とする。

- |                |           |
|----------------|-----------|
| A：目標を達成できた     | (90～100点) |
| B：目標をおおむね達成できた | (60～89点)  |
| C：目標達成に改善を要する  | (30～59点)  |
| D：施策の見直しを要する   | (0～29点)   |

## 7 西郷村教育委員会の基本施策

西郷村では、平成30年度の西郷村教育基本理念を「自立と共生」と定め、基本目標を「自らを高め、共によりよく生きる人づくり」として目標の実現のため、基本施策を9本の柱として、重点施策を定め事業を実施した。

## 【基本施策】

- 1 幼児期の教育・保育の充実
- 2 子育て支援の充実
- 3 学校教育の充実
- 4 家庭・地域の教育力向上
- 5 教育環境の整備
- 6 生涯学習の推進
- 7 スポーツの推進
- 8 芸術・文化の振興
- 9 各種会議の充実と事務の適正な執行

## 8 平成30年度 重点施策

### (1) 学校教育課主管事業

#### ① 学校教育の充実

- ア 校内研修の充実（一人一授業への外部講師の招聘）
- イ 必四学習の推進
- ウ 学校事故と不祥事の根絶

#### ② 「心力」育成事業の推進

- ア 学校・家庭・地域が一体となった人権教育の推進
- イ 道徳教育の推進（「特別の教科 道徳」の授業の充実）
- ウ いじめ、不登校のない学校づくり

エ 心を豊かにする体験活動の充実

### ③ 「学力」向上事業の推進

ア 学力調査・学習状況調査を生かした確かな学力の向上（全国レベルへの到達）

イ 共通実践事項（真剣な学びのための10項目・幼保小中連携「学習の基礎基本」）の確実な実践

ウ 外国語教育の充実（ALTの効果的な活用）

エ 家庭との連携による学習・生活・読書習慣の育成

### ④ 「健康・体力」向上事業の推進

ア 体力向上推進計画の実施（全国・県レベルへの到達）

イ 肥満傾向を示す児童・生徒への健康指導の実施

ウ 放射線教育、防災教育の取組の工夫と充実

### ⑤ 幼稚園教育の充実

ア 資質・能力の育成に向けた教育内容の充実

イ 学びや指導の充実と教材の充実

ウ 幼稚園におけるカリキュラム・マネジメントの確立

エ 家庭・地域との緊密な連携による幼稚園教育の充実

### ⑥ 特別支援教育の推進

ア 個に応じた支援と合理的配慮の提供の充実

イ 西郷地区特別支援連携協議会の充実と学校交流の推進

ウ 特別支援教育に関する研修の充実

## ⑦ 学校給食の充実

ア 「にしごうマクロビ給食」の実践と、安全安心な学校給食の提供

イ 学校、家庭と連携した食育の推進

## ⑧ 教育環境の整備と充実

ア 米小学校トイレ改修工事（新）

イ 川谷中学校屋外トイレ新築工事（新）

ウ 川谷中学校コンピューター室照明器具取替工事（新）

## （２）生涯学習課・公民館主管事業

### ① 生涯学習事業の推進

ア 青少年体験活動事業の充実

イ 中学生海外派遣事業の実施（新）

### ② 公民館事業の推進

ア 「西郷単位制総合大学」をはじめとした各種講座内容の充実と人材育成（新）

イ ぴんぴんキラリ事業等による仲間づくり、健康づくり、生きがいくりの推進（新）

ウ 読書活動推進のための図書室活動の充実

### ③ 文化財の保存・活用

ア 軍馬補充部関連遺構と伝統文化の調査



- イ 樹木などの文化財の適正な保護
- ウ 戊辰 150 年事業の実施（新）

#### ④ スポーツの振興と健康増進

- ア 体育協会・総合型地域スポーツクラブとの連携と活動支援
- イ 「健康ウォーキング」「ラジオ体操」の実践及び普及
- ウ 村民プール・甲子高原こども運動広場の活用

### 9 学校教育課に属する重点施策や事務事業の点検及び評価

学校教育課に属する基本施策については、**1**幼児期の教育・保育の充実、**2**子育て支援の充実、**3**学校教育の充実、**4**家庭・地域の教育力向上、**5**教育環境の整備の5項目を掲げ事業を実施した。なお、**4**家庭・地域の教育力向上については、学校教育課単独ではなく、生涯学習課とも連携・協力しながら事業を実施した。

学校教育課主管事業の重点施策については、①学校教育の充実の「ア 校内研修の充実（一人一授業への外部講師の招聘）」として、村内小中学校教職員の指導力向上を図るため、指導主事や学校教育専門指導員等の指導だけでなく、研修の講師招聘の範囲を広げ、より専門的な立場の方からも指導助言をいただいた。②「心力」育成事業の推進の「ア 学校・家庭・地域が一体となった人権教育の推進」では、各学校で授業参観の際に道德の授業を行い、保護者や地域の方々に対して道德教育に対する理解を深めていただくことができた。③「学力」向上事業の推進として、外国語教育の充実ということで、昨年度から継続してALTを小学校に2名、中学校に1名配置した。小学校では生きた外国語に慣れ親しむ機会の確保に努め、中学校では外国語の表現や理解能力の向上を図った。また、村では外国語教育研修会や推進委員会を年2回開催し、村内小中学校教職員の指導力向上を図った。④「健康・

体力」向上事業の推進の「イ 肥満傾向を示す児童・生徒への健康指導の実施」について、当村の児童・生徒の平均体重は学年により差はあるものの全国平均と比較すると重い傾向にある。そのため肥満傾向を示す児童・生徒に対して、各学校の養護教諭を中心に関係機関との情報共有や、歩数計の活用、食育授業の実践などの肥満対策の実施に努め、保護者とも連携し肥満傾向解消のための取り組みを行った。

⑧教育環境の整備と充実については、年次計画により、小・中学校のトイレの洋式化、コンピューター室照明器具の取替を実施し、学習環境を整えることができた。

評価の結果は、「目標を達成できた」事業が 11 件、「目標をおおむね達成できた」事業が 15 件で、「目標達成に改善を要する」事業、「施策の見直しを要する」事業はなかった。この結果を踏まえて、さらに改善や方策を検討し、次年度以降の教育行政を推進したい。

## (1) 目標を達成できた施策 (A 評価)

### ① [重点施策(1)-②-イ] 道徳教育の推進 (「特別の教科 道徳」の授業の充実)

平成 30 年 7 月の村教職員研修会では、中学校教職員全員を対象に、道徳の指導の在り方について研修を行った。また、12 月には筑波大学附属小学校から講師を招聘し、同一教材を用いて「国語科の読みの授業」と「道徳の読み物資料としての取扱い」の違いを明確に理解するための示範授業を行った。これらの研修をもとに、各校での校内研修も活発に行われた。

### ② [重点施策(1)-④-イ] 肥満傾向を示す児童・生徒への健康指導の実施

各校において、肥満傾向の児童・生徒に対する健康指導に取り組むとともに、年 2 回開催する養護教諭と教育委員会の合同会議においてその成果と課題を共有した。また、中学校区ごとに実施している学校保健委員会で健康指導について話

題に取り上げ、学校医からも肥満対策についての指導をいただいた。肥満傾向の児童・生徒の割合が少しずつ減少しており、取り組みの成果が表れている。

### ③〔重点施策(1)-⑤-ア〕資質・能力の育成に向けた教育内容の充実

毎日の園生活の中で、友達と色々な体験ができる環境を設定することにより、年齢に応じた生活の仕方ができるようになった。また自然と触れあったり、季節の行事に参加したりする活動の経験を通して、何事においても意欲的に参加する姿が見られ、園生活を楽しみ、学び、成長することができた。

### ④〔重点施策(1)-⑦-ア〕「にしごうマクロビ給食」の実践と、安全安心な学校給食の提供

「にしごうマクロビ給食」は主食に週4回米飯（西郷産コシヒカリ胚芽米）を使用し、噛み応えのある食材を提供した。メニューは和食中心で、主菜や副菜には、地場産品を使用し地産地消に努めた。

学校給食の安全確保の観点から、肉や野菜等の食材と給食1食分の提供日数分の放射能物質検査を実施した。また、アレルギー対応については希望する保護者と面談を行い、学校と連携を図りながらアレルギー対応食の提供ができた。

### ⑤〔重点施策(1)-⑧-ア〕米小学校トイレ改修工事（新）

### ⑥〔重点施策(1)-⑧-イ〕川谷中学校屋外トイレ新築工事（新）

### ⑦〔重点施策(1)-⑧-ウ〕川谷中学校コンピューター室照明器具取替工事（新）

特定防衛施設周辺整備調整交付金の補助事業を活用して、米小学校のトイレ改修工事、川谷中学校の屋外トイレ新設工事を実施した。なお、トイレ改修工事では和式トイレに不慣れな児童・生徒のストレスや健康面を配慮し全て洋式トイレとした。

- ・米小学校 1階男子2箇所、女子2箇所、2階男子2箇所、女子2箇所
- ・川谷中学校 屋外トイレ1箇所

また、川谷中学校のコンピューター室照明器具をLED照明に取り替えることにより、学習作業効率の向上を図った。

- ・川谷中学校コンピューター室 LED照明器具 10基

### < A評価のその他の施策 >

- ⑧ [重点施策(1)-①-イ] 必四学習の推進
- ⑨ [重点施策(1)-②-エ] 心を豊かにする体験活動の充実
- ⑩ [重点施策(1)-⑤-ウ] 幼稚園におけるカリキュラム・マネジメントの確立
- ⑪ [重点施策(1)-⑤-エ] 家庭・地域との緊密な連携による幼稚園教育の充実

### (2) 目標をおおむね達成できた施策 (B評価)

#### ① [重点施策(1)-①-ア] 校内研修の充実 (一人一授業への外部講師の招聘)

村内全小中学校で立案した一人一授業の計画に基づいて、指導主事や学校教育専門指導員、村教育委員会委嘱の学校教育推進員を派遣し、村内小中学校教職員の指導力向上を図ることができた。また、年に数回は、筑波大学附属小学校や福島大学、福島県教育委員会等、講師招聘の範囲を広げ、より専門的な立場の方からも指導助言をいただくことができた。主体的、対話的で深い学びの実現に向けて、教員の授業力向上を図る研修を更に充実させていきたい。

#### ② [重点施策(1)-②-ア] 学校・家庭・地域が一体となった人権教育の推進

各学校で、授業参観の際に道徳の授業を行い、保護者や地域の方々に対して道徳教育に対する理解を深めていただくことができた。また、各学校では児童・生徒が主体となった人権教育の取り組みを進めてきた。10月には村内全小中学校の

代表児童・生徒が一堂に会して「子ども人権会議」を開催し、各校の特色ある取り組みを発表しあうとともに、人権教育について活発な意見交換が行われた。今後も児童・生徒の人権意識を高めるための取り組みを日常的に行っていきたい。

③〔重点施策(1)-③-イ〕共通実践事項（真剣な学びのための10項目・幼保小中連携「学習の基礎基本」）の確実な実践

「真剣な学びの10項目」や「我が校のこれだけは」をもとに、ショートスパンでのPDCAサイクルを確立し、教職員個々の授業力の向上を図ることができた。また、学習の基礎基本を活用しながら学び方や学び合いの仕方を系統的に身に付けさせることができた。週ごとのチェック&アクションのマンネリ化、形骸化を防ぐ工夫をしながら更に実効性の高いものとして活用できるようにしたい。

④〔重点施策(1)-⑤-イ〕学びや指導の充実と教材の充実

幼稚園において「幼児期までに育てたい姿」を意識しながら、日々の生活の繰り返しや四季の自然に触れながら様々な体験をする中で、いくつもの学びが出来るような環境を設定することができ、また一人ひとりに寄り添った指導を行うことができた。より良い保育を提供できるような環境設定に努めたり、保育の振り返りや関わり方を意識できるようになったが、今後更なる環境設定のより良い在り方についての検討を行っていきたい。

⑤〔重点施策(1)-⑥-イ〕西郷地区特別支援連携協議会の充実と学校交流の推進

県南教育事務所や西郷支援学校の支援・指導をいただきながら、西郷地区特別支援連携協議会を2回開催した。1回目は、西郷第二中学校を会場に特別支援学級の授業参観を行い、指導法についての研修を行った。2回目は、幼稚園・各小中学校ごとのグループに分かれてケース会議についての研修を行い、各学校での

実践に生かすことができた。参加者からの各校での伝達講習の在り方を工夫するなど、今後更に全教職員が特別支援教育に対する理解を深めることができるような手立てを講じていきたい。

#### < B評価のその他の施策 >

- ⑥〔重点施策(1)-①-ウ〕 学校事故と不祥事の根絶
- ⑦〔重点施策(1)-②-ウ〕 いじめ、不登校のない学校づくり
- ⑧〔重点施策(1)-③-ア〕 学力調査・学習状況調査を生かした確かな学力の向上  
(全国レベルへの到達)
- ⑨〔重点施策(1)-③-ウ〕 外国語教育の充実 (A L Tの効果的な活用)
- ⑩〔重点施策(1)-③-エ〕 家庭との連携による学習・生活・読書習慣の育成
- ⑪〔重点施策(1)-④-ア〕 体力向上推進計画の実施 (全国・県レベルへの到達)
- ⑫〔重点施策(1)-④-ウ〕 放射線教育、防災教育の取組の工夫と充実
- ⑬〔重点施策(1)-⑥-ア〕 個に応じた支援と合理的配慮の提供の充実
- ⑭〔重点施策(1)-⑥-ウ〕 特別支援教育に関する研修の充実
- ⑮〔重点施策(1)-⑦-イ〕 学校、家庭と連携した食育の推進

#### (3) 目標達成に改善を要する施策 (C評価)

(C) の評価に該当するものは、無かった。

#### (4) 見直しを要する施策 (D評価)

(D) の評価に該当するものは、無かった。

## 10 生涯学習課に属する重点施策や事務事業の点検及び評価

生涯学習課に属する基本施策については「生きがい」と「地域の教育力向上」に役立つ**6**生涯学習の推進、「かかわる」喜びを実感する**7**スポーツの推進及び**8**芸術文化の振興の3項目を掲げ事業を実施した。また、**4**家庭・地域の教育力向上については、生涯学習課単独ではなく、学校教育課とも連携・協力しながら事業を実施した。

生涯学習課では、平成29年度より甲子高原こども運動広場ときびたきの森トレーニングコースを活用した西の郷クロスカントリー大会を実施しているが、平成30年度は那須甲子青少年自然の家第二スキー場のゲレンデもコースに含めるといったコースの特徴付けを行い、他のレースとの差別化を図っている。

平成29年度に引き続き、公民館事業では「人生楽園の旅」、「健康麻雀教室」、「健康パドル体操教室」のぴんぴんキラリ3事業を展開し、健康麻雀教室はいち早く自主サークル化を果たし、平成30年度に文化協会に加盟している。健康パドル体操教室も平成30年度に自主サークル化し、講座参加者が主体となって活動していくようになってきている。また、平成30年度新規事業として、「『ぴんぴんキラリ』ハッピー西郷ヨガ教室」を開催し、これは働き盛りの年代向けに行った事業であり、募集開始後すぐに参加者が集まり、講座修了後も参加者独自で続けていきたいという要望があったため、公民館がサポートし、自主サークル化されている。図書室活動では、平成29年度から、これまでの読書フォーラムとして行ってきた講演形式の催しを参加・体験型の「にしごうブックフェス」に変更し、2回目の取り組みとなったが、参加者も多く、好評であった。今後も開催の時間等を考慮しながら実施していきたい。

地域学校協働本部事業は平成29年度途中から取り組んだため、一年間を通して実施できたのは平成30年度が最初となる。学習支援に加え、地域の人々が学校を支え、

学校が地域に貢献する、双方向の関係性を築けるよう、コーディネーターを配置し、地域と学校の橋渡しをする事業に取り組んでいる。

文化財については、平成 30 年が戊辰戦争から 150 年という節目の年であり、村内でも戊辰戦争の戦闘が行われたことを知らない村民も多かったため、パネル展示や関連する講座の実施、文化財資料集の刊行など、戊辰戦争に関連する文化財を中心に啓発活動に努めた。

評価の結果、「目標を達成できた」事業が 8 件、「目標をおおむね達成できた」事業が 3 件となった。

## (1) 目標を達成できた施策 (A 評価)

### ① [重点施策(2)-②-ア] 「西郷単位制総合大学」をはじめとした各種講座内容の充実と人材育成 (新)

「西郷単位制総合大学」では、平成 30 年度の入学生に短大 3 名、大学 7 名、大学院 2 名の計 12 名を新たに迎え、さらに聴講生 9 名を加えて総勢 43 名でスタートした。

必修講座では、「村長講話」を皮切りに、平成 29 年度まで「きらり学び講座」で人気を博していた藤田克彦先生の 4 回シリーズの講座、そして、戊辰 150 年を記念する講座を組み入れたことにより、時代にマッチした深みのある講座を展開することができた。さらに「卒業旅行」では、「戊辰 150 年」関連の講師であり、しかも「白河大戦争」の著者でもある植村美洋先生に直接ガイドいただいたの現地研修となったが、学びの集大成として大変有意義であり、実り多い研修の場となった。

単位満了により送り出した卒業生は、短大 1 名、大学 7 名、大学院 1 名の 9 名で卒業式を前にした「発表会」では、これまでの講座や研修を踏まえて自己研鑽を積んで来た成果を発表いただいた。文化琴の演奏・スポーツ吹き矢や太極拳の



実演・「外見からはわかりにくい発達障害について」の研究発表など、どれも見応え、聴き応えのある発表となった。

「きらり学び講座」では、平成 30 年度は、郡山市在住でテレビや新聞等でも紹介されている、漢字教育士の八重樫一先生に、面白漢字ゼミナールと銘打って全 10 回シリーズで講話をいただいた。日常の新聞から取り出した漢字の講話や「人生百年時代に役立つ『名言名句百選』」・「論語」など難解な漢字の解説を通して、人生訓や考え方などを面白くそして楽しく講話いただいた。

## ②〔重点施策(2)-②-1〕ぴんぴんキラリ事業等による仲間づくり、健康づくり、生きがいの推進（新）

超高齢社会に向け、高齢者の生きがいのづくり、仲間づくり、健康づくりを目的に企画したぴんぴんキラリ 3 事業「人生楽園の旅」・「健康麻雀教室」・「健康パドル体操教室」は、どれもニーズに合致し成果を上げている。

「人生楽園の旅」では、平成 29 年度とは全く違った新コース 6 回分を企画したが、平成 29 年度参加者の口コミ等もあり、募集開始初日の午後には定員をオーバーする盛況ぶりであった。のべ 204 名の参加者を得て大好評の内に終了できた。平成 30 年度も健康推進課とのタイアップにより、バスの中での保健師による「健康講話」を行い、参加者の安全・安心に大いに役立っている。

「健康麻雀教室」は、平成 29 年度の反省を踏まえ全 20 回コースで実施した。受講者からは、「ゆっくり、時間をかけて指導いただいたので理解するのに丁度良かった」等の感想が得られた。受講修了者の受け入れ先ということでは「西郷健康麻雀サロン」が立ち上がっていることも好都合で、平成 30 年度受講者 30 名中 24 名が入会を希望した。高齢者の生きがいのづくりという点で、大きく寄与している一事業である。

「健康パドル体操教室」は楽しく気軽にできる体操として人気があり、平成 30 年度も 50 名を超える参加者があった。講師の巧みな話術と指導法により、常に笑いに包まれながら明るく楽しく活動を展開している。平成 29 年度インストラクターの資格を取得した方を中心に、「自主サークル」が立ち上がっている。

### ③〔重点施策(2)-④-カ〕 村民プール・甲子高原こども運動広場の活用

村民プールは平成 29 年 1 月 15 日、甲子高原こども運動広場は平成 27 年 8 月 9 日にそれぞれオープンした。平成 30 年度の利用人数は村民プールが 41,145 人、こども運動広場が 44,763 人となっている。

活用施策として、村民プールは N P O 法人や民間の事業者と連携し、成人及び子ども向けの水泳教室や泳力検定を実施し利用客の増加を図っている。こども運動広場については、平成 29 年度より西の郷クロスカントリー大会を実施し、平成 30 年度は第 2 回大会を開催した。また、近隣の宿泊施設と連携し、合宿誘致を推進している。

### ④〔重点施策(2)-①-イ〕 中学生海外派遣事業の実施（新）

平成 7 年に中国天津市薊県と日中友好都市提携を契機に、人材育成事業として中学生海外派遣事業を実施してきたが、平成 23 年 3 月の東日本大震災以降交流が途絶えたため、派遣先をタイ王国に変更した。しかし平成 25～28 年度のうち政情不安定の影響から募集人員に達せず中止となり一度しか実施できなかった。そのため、平成 29 年度は海外派遣を実施せず派遣先の検討を行い、実施委員会で検討を重ね、村に関わりがあり、アンケート調査の結果で最も人気が高かったアメリカ合衆国に派遣先を決定した。

中学 2 年生を対象に、生徒 19 名、引率 6 名の計 25 名が、5 泊 7 日の日程でアメリカ合衆国シアトル市、バンクーバー市などで研修を実施した。生徒たちは、

事前に班編制し、各班で目標を定め、事前学習を実施し海外派遣事業に臨んだ。参加した生徒たちは、現地において、3泊4日のホームステイ、村内立地企業の現地工場見学等の交流を図った。本場の英語を体験し、また他国の文化に強く関心を持ち、日本文化との違いを実感したことで、視野を広げられたとともに、学習への意欲をより一層高めることができた。

#### < A評価のその他の施策 >

- ⑤ [重点施策(2)-②-ウ] 読書活動推進のための図書室活動の充実
- ⑥ [重点施策(2)-③-イ] 樹木などの文化財の適正な保護
- ⑦ [重点施策(2)-③-ウ] 戊辰 150 年事業の実施（新）
- ⑧ [重点施策(2)-④-ア] 体育協会・総合型地域スポーツクラブとの連携と活動支援

#### (2) 目標をおおむね達成できた施策（B評価）

##### ① [重点施策(2)-①-ア] 青少年体験活動事業の充実

平成 26 年度より 3 年間、「三本槍の故事の再現」として那須町、西郷村、下郷町の三町村の中学生の生徒会役員等を中心に登山をメインとした交流活動を実施してきた。平成 28 年度からは「三町村交流事業」に名称を変え、各町村の特色を生かした体験活動を実施する事業として継続している。

3 町村を代表する中学生が情報交換や自然体験を通して交流を深めつながりを持つことは、お互いに隣接する町村で切磋琢磨しながら頑張っていこうという意識を高めると共に資質の向上を誓い合う場として大いに役立っている。

各町村の生徒、各 15 名、計 45 名と引率者という構成で実施しているが、平成 30 年度は、地域の行事の関係で、下郷町の参加がなかった。次年度は、3 町村に会津美里町を加えて「四町村交流事業」として進める予定である。

## ②〔重点施策(2)-③-ア〕軍馬補充部関連遺構と伝統文化の調査

本村の歴史に大きな影響を与えた軍馬補充部白河支部の遺構については、指定文化財にもなっている白河支部事務所や村内に点在している牧場を区画する土塁がある。台上地区にある土塁に関しては開発の計画があり、他の地区より優先して調査を行い、記録保存や活用のための協議を行っている。

伝統文化については、文化財保護委員長であった方に聞き取り調査を行い、村の年中行事やしきたり、風習といった民俗事例の収集を行った。

### < B評価のその他の施策 >

## ③〔重点施策(2)-④-イ〕「健康ウォーキング」「ラジオ体操」の実践及び普及

### (3) 目標達成に改善を要する施策 (C評価)

(C) の評価に該当するものは、無かった。

### (4) 見直しを要する施策 (D評価)

(D) の評価に該当するものは、無かった

## 11 教育委員の活動状況

### (1) 教育長・教育委員会委員選任状況

(平成31年4月1日現在)

| 職名       | 氏名    | 任期                 | 就任        |
|----------|-------|--------------------|-----------|
| 教育長      | 鈴木且雪  | H30.11.1～R3.10.31  | H27.11.1  |
| 教育長職務代理者 | 勝又千賀子 | H30.10.18～R4.10.17 | H22.10.18 |
| 委員       | 佐藤敏巳  | H28.10.1～R2.9.30   | H24.10.1  |
| 委員       | 村田清   | H28.3.22～R1.9.30   | H28.3.22  |
| 委員       | 松永紀男  | H29.12.22～R3.12.21 | H29.12.22 |

(2) 会議・行事等の開催状況

| 期 日          | 会議・行事等                                 | 備考  |
|--------------|--|-----|
| 4 月 2 日      | 西郷村教職員合同着任式                            |     |
| 4 月 6 日      | 村立小中学校入学式                              |     |
| 4 月 9 日      | 村立幼稚園入園式                               |     |
| 4 月 23 日     | 教育委員会第 1 回定例会                          |     |
| 5 月 8 日      | 福島県市町村教育委員会連絡協議会定期総会                   | 福島市 |
| 5 月 16 日     | 西郷村総合教育会議                              |     |
| 5 月 25 日     | 市町村教育委員会連絡協議会西白河支会総会                   | 西郷村 |
| 7 月 25 日     | 教育委員会第 2 回定例会                          |     |
| 9 月 10 日     | 西郷村中学生立志式                              |     |
| 9 月 13 日     | 教育懇談会（川谷小中）                            |     |
| 10 月 11 日    | 教育委員会第 3 回定例会（学校訪問）                    |     |
| 10 月 16～17 日 | 教育委員視察研修（長野県茅野市・群馬県高崎市）                |     |
| 11 月 21 日    | 市町村教育委員会新任教育委員研修会                      | 福島市 |
| 11 月 28 日    | 教育委員学校訪問（西一中、給食センター、西二中）               |     |
| 1 月 17 日     | 西郷村・那須町教育委員会合同研修会                      | 那須町 |
| 1 月 25 日     | 教育委員学校訪問（米小、羽太小、川谷小中）<br>教育委員会第 4 回定例会 |     |
| 3 月 5 日      | 教育委員会第 1 回臨時会                          |     |
| 3 月 13 日     | 村立中学校卒業式                               |     |
| 3 月 18 日     | 村立幼稚園卒園式                               |     |
| 3 月 22 日     | 村立小学校卒業式                               |     |
| 3 月 28 日     | 西郷村教職員合同離任式                            |     |